

## 塗装鋼橋の防食性向上を目的とした塗替え施工時の素地調整手法

坂本達朗 鈴木慧 鈴木隼人

塗装鋼橋の防食性を向上させるためには、塗替え施工時に行われる素地調整作業においてさびを残さないことや、腐食に寄与する環境因子を遮断できる材料の適用などが効果的と考えられます。さびの除去については、レーザーを用いた手法が一般的な工具よりも高いさび除



図1 レーザを用いた手法

去性能を有する可能性を見出しました(図1)。環境因子を遮断する手法としては、ボルト・ナット部に対してキャップを被覆する工法に着目し、防食性の向上のためにキャップと部材を確実に接着する手法を考案しました(図2)。また、高品位な素地調整手法であるものの密閉された作業空間が必要なプラスト工法について、熱収縮シートが隙間を生じにくい養生材料であることに着目し、本材料が安全性の観点から十分な性能を有することを確認しました。

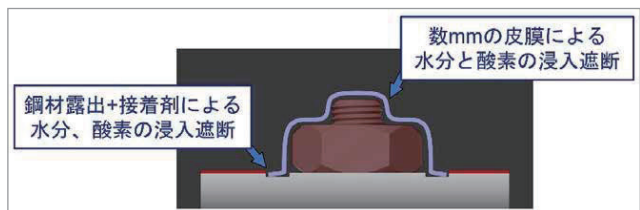


図2 考案した接着手法(キャップと接触する部材表面を鋼素地まで露出させる)